

池で観察

池といっても、大きなものから水たまりに近いような小さなものまでさまざまですが、比較的小さな池のほうが観察しやすいでしょう。

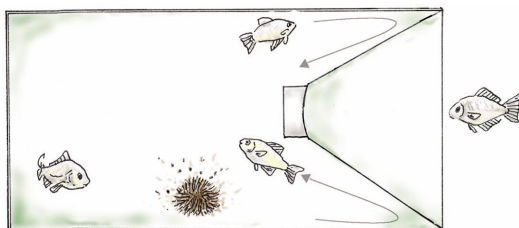
池でも危険を伴うことがありますので、子供は必ず大人の人と一緒に観察しましょう。また採集する場合には、池の持ち主に了解をもらうことも忘れないで下さい。

Point1 魚を採る

池の中の魚は、岸からはなかなかみつけにくいものです。メダカやカダヤシは、水面近くを泳いでいるので、慣れればそれとわかります。コイやギンブナなども、時々水面近くに浮かんできますが、やはり採って見ないと正確な種類はわかりません。魚を採るにはいろいろな方法がありますが、ここでは「モンドリ」という罠を使ってみましょう。

モンドリは「ウケ」とか「ビン」などともよばれますが、エサを入れた容器に魚を誘い込む道具（罠）のことです。材質は竹やアミなどもありますが、釣り具店でよく売られている「セルビン」とよばれるものが最も手軽です。ペットボトルを利用して自分で簡単につくることができますので、ぜひ試して下さい。

この罠の共通した特徴は、入り口に「もどし」がついていることです。魚は罠の中に入ると、壁つたいに泳ぐ習性があります。入り口では「もどし」のため、また中に戻ってしまうのです。誘うためのエサは、釣り餌のさなぎ粉が手軽です。



～「もどし」の構造～